

地方創生推進交付金 [令和3年度実施事業調書]

資料 4

No.	事業の概要	R3実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値						今後の方向性		外部評価		
		総額	交付金充当額	指標	事業開始前	R2年度1年目	R3年度2年目	R4年度3年目	KPI累計	内部評価	理由	委員意見		
事業名: 「多文化共生社会の実現による外国人材いきいき活躍プロジェクト」 事業期間: 令和2年度～令和4年度(3か年)														
2	<p>【活性化総合戦略における位置付け】 ・基本目標2 函館の経済を支え強化します (施策)④誰もが生き生き働くことができる環境整備</p> <p>【事業目的】 地域に不足している働き手としての外国人材を受け入れ、外国人がいきいき活躍し、インバウンド受入体制の充実や外国人の新たな視点を取り入れたサービスの提供などにより、地域経済の活性化につなげていく。</p> <p>【令和3年度実施事業】 詳細は、別紙<内訳>のとおり</p>	5,749	2,875	<p>①在住外国人の数 (前年度増加分実績)</p> <p>1,055人</p>	<p>100人</p> <p>66人 (1,121人)</p>	<p>100人</p> <p>▲139人 (982人)</p>	<p>100人</p> <p>-</p>	<p>300人</p> <p>▲73人</p>	C 効果あり	ウ 事業継続	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による外国人の入国制限や、外国人材受入支援に係るセミナーの中止によって、目標が未達成となった項目がある。 しかしながら、オンラインによる日本語教室の開催などの工夫により、日本語教室の受講者数および交流事業への外国人参加者数については、昨年度を上回り、事業には一定の効果があったものと考えられる。 今後もニーズの掘り起こしを行いながら、引き続き事業を実施し、外国人材の受入環境の整備等を推進する。</p>			
<p>②日本語教室の延受講者数 (前年度増加分実績)</p> <p>1,178人</p>	<p>100人</p> <p>▲694人 (484人)</p>	<p>100人</p> <p>160人 (644人)</p>	<p>100人</p> <p>-</p>	<p>300人</p> <p>▲534人</p>										
<p>③交流事業への外国人参加者数 (前年度増加分実績)</p> <p>90人</p>	<p>5人</p> <p>▲40人 (50人)</p>	<p>5人</p> <p>8人 (58人)</p>	<p>5人</p> <p>-</p>	<p>15人</p> <p>▲32人</p>										
<p>④外国人材受入支援にかかるセミナーや交流会などへの参加者数 (前年度増加分実績)</p> <p>15人</p>	<p>40人</p> <p>▲15人 (-)</p>	<p>20人</p> <p>0人 (-)</p>	<p>20人</p> <p>-</p>	<p>80人</p> <p>▲15人</p>										

【内部評価 ※国の実施報告の選択肢】 A…非常に効果的 B…相当程度効果あり C…効果あり D…効果なし
 【今後の方向性】 ア…更に発展させる イ…事業内容見直し(改善) ウ…事業継続 エ…事業中止 オ…事業期間終了

【外部評価】 ア…KPIの達成に有効であった イ…KPIの達成に有効とはいえない

「多文化共生社会の実現による外国人材いきいき活躍プロジェクト」令和3年度実施事業内訳

事業名	R3実績額(千円)		事業の概要
	事業費総額	交付金額	
計	5,749	2,875	
日本語指導関係経費	289	144	<p>〔概要〕日本語指導が必要な外国籍または日本籍の児童生徒に対し、対応が可能な支援者を派遣し、学習支援や日本語指導を行う。</p> <p>○令和3年度 対象者：4名</p>
外国人労働者採用セミナーの開催	0	0	<p>〔概要〕外国人材の受入を検討する市内事業者に対し、受け入れに関する正しい知識の習得と雇用環境の整備を促し、適切な外国人材受け入れにつなげることを目的に、在留資格の種類や制度の仕組み、雇用事例等に関するセミナーを開催する。</p> <p>○令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>
外国人材受入事業者等との交流会	0	0	<p>〔概要〕市内事業者においては、外国人材の受け入れが進んでいないため、すでに外国人材を受け入れている市外事業者や外国人材を紹介した監理団体と市内事業者が、座談会形式で自由に意見交換ができる双方向コミュニケーションの場として、交流会を開催する。</p> <p>○令和3年度 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>
コミュニケーション支援関係経費	1,421	711	<p>〔概要〕在住外国人に対し、日本語教室や日本文化の体験(着付け、茶道等)や、週末ホームステイを通じて日本語レベルの向上や日本文化への理解を促すとともに、「やさしい日本語」の普及・啓発に努める。</p> <p>○令和3年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室 ・実施クラス：7クラス ・受講者数：延べ644人 <li style="padding-left: 20px;">※新型コロナウイルス感染症の影響により 1月～3月開催分はオンラインにて開催。 ・日本文化体験(異文化交流キャンプ) ・日時：令和4年2月5日 ・会場：ふるる函館 <li style="padding-left: 20px;">・参加者数：12名 (zoomでホームビジット) ・日時：令和3年11月21日 ・会場：zoom <li style="padding-left: 20px;">・参加者数：18名 ・やさしい日本語講演会 ・日時：令和4年1月30日 ・会場：zoomおよび北海道国際交流センター <li style="padding-left: 20px;">・参加者数：22名
外国人が暮らしやすい地域社会づくり関係経費	4,039	2,020	<p>〔概要〕在住外国人が本市で充実した生活を送ることができるよう、生活ガイドブックの多言語での作成や生活ルールのオリエンテーション・市民との交流イベントなどを実施する。</p> <p>○令和3年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活ガイドブック ・作成言語：5カ国語(英語・中国語・韓国語・ベトナム語・やさしい日本語) ・ヘルプデスク通訳者研修 ・日時：令和4年3月27日 ・会場：zoom ・参加者数：24名 ・オリエンテーションの実施 ・実施回数：3回 ・参加者数：70名 ・交流イベント(国際×農園×文化in亀尾) ・日時：令和3年10月9日 ・会場：亀尾ふれあいの里農園 <li style="padding-left: 20px;">・参加者数：23名 (技能実習生向け着物と茶道体験) ・日時：令和3年11月10日 ・会場：北海道国際交流センター、函館西高等学校 <li style="padding-left: 20px;">・参加者数：36名 (伝統衣装で交流体験) ・日時：令和4年1月13日 ・会場：zoom <li style="padding-left: 20px;">・参加者数：11名 (技能実習生と市民の交流会) ・日時：令和4年1月16日 ・会場：ロシア極東大学 <li style="padding-left: 20px;">・参加者数：18名

No.	事業の概要	R3実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値						今後の方向性		外部評価		
		総額	交付金 充当額	指標	事業 開始前	R2年度 1年目	R3年度 2年目	R4年度 3年目	KPI累計	内部 評価	理由	委員意見		
事業名: 「水産・海洋に関するローカルイノベーション創出支援事業」 事業期間: 令和2年度～令和4年度(3か年)														
3	【活性化総合戦略における位置付け】 ・基本目標2 函館の経済を支え強化します(施策) ③食を支える安心・安全な農水産物の生産・供給支援のほか、食の魅力を高め、多くのひとを呼び込み販路拡大につなげる支援 ④誰もが生き生き働くことができる環境整備 【事業目的】 国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点都市を形成することにより、産学官が連携しマリンサイエンス分野で世界をリードする研究成果や革新技術を生み出し、雇用の創出と産業経済の活性化を目指している。 【令和3年度実施事業】 詳細は、別紙<内訳>のとおり	5,390	2,695	①事業推進主体が外部から獲得する競争的資金を活用したプロジェクト数(前年度増加分実績) ②成果報告会の開催(前年度増加分実績) ③事業推進主体と市の協働による水産・海洋に関する研究機関、企業への訪問、誘致(前年度増加分実績) ④若手研究者と若手漁業者等の交流の場の開催(前年度増加分実績)	-	1件	1件	1件	3件	A 非常に効果的 工業 事業 中止	令和3年度は、すべての項目について目標を達成することができており、高い効果を確認できた。 なお、本事業は令和2年度から令和4年度までを計画期間としていたが、産学官が連携し、サーモン養殖の研究事業や、新コンブ産業の形成、即戦力となる専門人材の育成に取り組む「 地方大学・地域産業創生交付金事業 」へ吸収・移行することから、 令和3年度をもって事業を打ち切る こととする。			
				0件(0件)	2件(2件)	-	2件							
			2回	0回	1回	1回	2回							
				0回(2回)	1回(3回)	-	3回							
			3件	2件	2件	2件	6件							
				2件(5件)	4件(9件)	-	9件							
			-	0件	1件	1件	2件							
				1件(1件)	1件(2件)	-	2件							

【内部評価 ※国の実施報告の選択肢】 A…非常に効果的 B…相当程度効果あり C…効果あり D…効果なし
 【今後の方向性】 ア…更に発展させる イ…事業内容見直し(改善) ウ…事業継続 エ…事業中止 オ…事業期間終了

【外部評価】 ア…KPIの達成に有効であった イ…KPIの達成に有効とはいえない

「水産・海洋に関するローカルイノベーション創出支援事業」令和3年度実施事業内訳

事業名	R3実績額（千円）		事業の概要
	事業費総額	交付金額	
計	5,390	2,695	
研究促進に向けた支援	5,038	2,519	<p>〔概要〕新産業創出につながる効果的な研究活動を行うために、国等から研究資金を獲得し、地域ニーズと研究シーズとをマッチングするような連携促進や、地域課題を選定・評価し、産学官の研究機関の取りまとめや調整、研究の進行管理、予算執行管理などを一元的に行うことができる研究管理体制を強化する。</p> <p>○プロジェクトマネージャーの配置：1名（期間：令和3年4月～令和4年3月）</p> <p>○内閣府所管 地方大学・地域産業創生交付金事業の採択</p>
地域事業者への研究成果の還元	221	110	<p>〔概要〕研究の進歩を発表する場を作り、研究成果を漁業や水産関連企業などと共有を図る。また、研究体制および連携強化を図るため、研究機関等と協力し、講演会等イベントを開催する。</p> <p>○「函館圏の産業活性化に資する鮭鱒類養殖シンポジウム」（2/25開催）</p>
水産・海洋関連企業等との連携強化	108	54	<p>〔概要〕海洋科学技術分野における研究開発の促進に関する情報交換および協力関係を深めるため、水産・海洋関連企業への訪問、成果報告会等へ参加する。</p> <p>○水産・海洋関連企業等との意見交換の実施</p>
若手研究者と若手漁業者による交流および成果報告	23	12	<p>〔概要〕函館市国際水産・海洋総合研究センター入居機関の若手研究者が、センター外の水産関係者へ研究活動の報告や交流する機会を設け、地域へのアウトリーチ活動を通じ、新産業の担い手となり得る漁業者らと関係を深めるための支援をする。</p> <p>○漁業者の取組みへのアドバイス・サポートの実施</p>

No.	事業の概要	R3実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値						今後の方向性		外部評価		
		総額	交付金 充当額	指標	事業 開始前	R3年度 1年目	R4年度 2年目	R5年度 3年目	KPI累計	内部 評価	理由	委員意見		
事業名: 「はこだて”ニコニコパクパク” 健幸シティプロジェクト」 事業期間: 令和3年度～令和5年度(3か年)														
1	【活性化総合戦略における位置付け】 ・基本目標1 市民一人ひとりの幸せを大切にします (施策)②健康で元気に生活できる環境づくり 【事業目的】 市民一人ひとりの健康づくりを地域全体で支援することを基本として、産学官連携による生活習慣病の改善や社会環境の整備を行うことにより、健康寿命の延伸を図る。 【令和3年度実施事業】 詳細は、別紙<内訳>のとおり	28,968	14,483	①当該事業をきっかけに健康づくりに取り組んだ人数(健康情報発信LINE公式アカウント友だち登録者数) (前年度増加分実績)	-	10,000人	1,000人	1,000人	12,000人	B 相当 程度 効果 あり	ウ 事業 継続	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うイベント開催の制限や規模縮小で、周知の機会が減少したことから、一部の項目で目標が未達成となった。 一方で、他部局と連携した周知活動等により、「健康事業所宣言事業所数」や、「スマートバランスレストラン登録店舗数」については、目標値を大きく超える実績があったことから、健康意識の醸成に効果があったと考えられる。 今後も、引き続き健康への意識を高めるためのイベントや、周知活動を実施する。		
			②健康づくりの意識向上によるアクション数 (100万歩チャレンジ参加人数) (前年度増加分実績)	1,297人	1,297人	10,406	2,000	13,703人						
			③医療保険者が実施する「健康事業所宣言」事業所数 (前年度増加分実績)	67事業所	7事業所	7事業所	9事業所	7事業所						
			④スマートバランスレストラン登録店舗数 (前年度増加分実績)	69店	7店	7店	7店	21店						
						1,586人 (1,586人)	-	-	1,586人					
						▲842人 (455人)	-	-	▲842人					
						36事業所 (103事業所)	-	-	36事業所					
						20店 (89店)	-	-	20店					

【内部評価 ※国の実施報告の選択肢】 A…非常に効果的 B…相当程度効果あり C…効果あり D…効果なし
 【今後の方向性】 ア…更に発展させる イ…事業内容見直し(改善) ウ…事業継続 エ…事業中止 オ…事業期間終了

【外部評価】 ア…KPIの達成に有効であった イ…KPIの達成に有効とはいえない

「はこだて”ニコニコパクパク”健幸シティプロジェクト」令和3年度実施事業内訳

事業名	R3実績額(千円)		事業の概要
	事業費総額	交付金額	
計	28,968	14,483	
はこだて市民健幸大学関係経費	7,332	3,666	<p>〔概要〕コロナ禍において、健康的なカラダづくりのため、運動、食事など、よい生活習慣を実践する必要があることから、市民が内でも外でも気軽に参加し、健康づくりのきっかけとなるよう、健康づくりに関心を持ってもらうための取り組みを実施する。</p> <p>○令和3年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100万歩チャレンジ 参加者数：1,752名 ・ベジプラ！楽うまレシピコンテスト 応募者数：25名 ・みんなde健幸づくり 参加者数：929名(延べ) ・健幸ラーニング(eラーニング) ページビュー数：3,162回 回答者数：567名 ・健幸チャンネル(YouTube) 掲載数：36動画 再生回数：1,068回
はこだて健幸応援店事業	773	386	<p>〔概要〕飲食店等における栄養バランスに配慮した食事提供の場を増やし、市民の健康的な選択や家庭での実践につながる仕組みをつくり、健康寿命の延伸に向けた望ましい食生活を送るための意識付けを行う。</p> <p>○令和3年度実績 登録店舗数：20店舗</p>
がん検診事業	11,316	5,658	<p>〔概要〕がん検診受診率向上に効果の大きい働き盛りの世代などを対象に、コールセンターによる個別の受信勧奨等を実施し、受診のきっかけとしてもらい、検診の重要性について意識付けを行う。</p> <p>○令和3年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度受診者への大腸がんキット郵送 2,414件 ・大腸がん検診再勧奨ハガキ郵送 656件 ・電話勧奨 732件 等
歯科検診・啓発推進事業	5,900	2,950	<p>〔概要〕介護施設等への歯科医師派遣による講演・歯科相談を実施することで、歯・口腔の健康を推進し、健康寿命の延伸につなげる。</p> <p>○令和3年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯とお口の健康教室(妊産婦) 開催数 3回 参加人数 18名 ・歯の学校(小・中学校) 開催数13回 参加人数 366名 ・介護施設等 開催数 11回 参加人数192名 ・企業・団体等 開催数 11回 参加人数117名 ・その他 開催数 2回 参加人数 12名
健康情報発信事業	3,200	1,600	<p>〔概要〕公式LINEアカウントを立ち上げ、新たな情報発信ツールとして活用し、幅広い層へ健康に関する情報を発信し、健康無関心層も含んだ市民全体の健康意識の醸成および健康づくりの実践を促す。</p> <p>○令和3年度実績 友だち登録数：1,586名</p>
健康経営推進事業	315	157	<p>〔概要〕従業員の健康への投資により、従業員の活力や生産性の向上、企業価値や業績の向上、人材の定着や確保等に繋げる健康経営を推進する。</p> <p>○令和3年度実績 健康宣言事業所数：103事業所</p>
たばこ対策事業	132	66	<p>〔概要〕受動喫煙防止対策の推進により、たばこによる健康被害の防止および健康の保持増進に寄与する取り組みとして、屋内禁煙に取り組む施設の登録事業を行うほか、禁煙の促進・受動喫煙防止についての情報をLINEなどのSNSを活用し、積極的な周知啓発を行う。</p> <p>○令和3年度実績 きれいな空気の施設新規登録数：90件</p>

No.	事業の概要	R3実績額(千円)		本事業における重要業績評価指標(KPI) 上段:目標値 下段:実績値						今後の方向性		外部評価		
		総額	交付金充当額	指標	事業開始前	R3年度1年目	R4年度2年目	R5年度3年目	KPI累計	内部評価	理由	委員意見		
事業名: 「“地域いきいき” 函館で働きたい若者応援プロジェクト」 事業期間: 令和3年度～令和5年度(3か年)														
1	<p>【活性化総合戦略における位置付け】 ・基本目標2 函館の経済を支え強化します(施策)④誰もが生き生き働くことができる環境整備</p> <p>【事業目的】 若者や子育て世代がワーク・ライフ・バランスを実現し、生き生き働くことができるよう、魅力的な雇用の場を提供するため、市内企業の魅力について情報発信するほか、新しい働き方や新しい社会を支える「人」・イノベーションが生まれやすい土壌をつくり育て、地域社会の担い手を増やすとともに、地域経済の活性化を図る。</p> <p>【令和3年度実施事業】 詳細は、別紙<内訳>のとおり</p>	19,285	9,642	<p>①20～29歳の市外への転出超過数の減少数(前年度増加分実績)</p> <p>476人</p>	<p>10人</p> <p>25人(451人)</p>	<p>10人</p> <p>-</p>	<p>10人</p> <p>-</p>	<p>30人</p> <p>25人</p>	B 相当程度効果あり	ウ 事業継続	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、ワーケーション体験ツアーの一時募集停止などのため、一部目標未達成の項目があるものの、概ね目標を達成することができた。</p> <p>引き続き、採用に関する効果的な情報発信を行うほか、将来的な企業誘致につながるワーケーションの仕組みづくりや、若者の創業支援等を行う。</p>			
<p>②新規雇用者数(前年度増加分実績)</p> <p>99人</p>	<p>99人</p> <p>84人(183人)</p>	<p>99人</p> <p>-</p>	<p>103人</p> <p>-</p>	<p>301人</p> <p>84人</p>										
<p>③企業立地件数(前年度増加分実績)</p> <p>2件</p>	<p>1件</p> <p>3件(5件)</p>	<p>1件</p> <p>-</p>	<p>1件</p> <p>-</p>	<p>3件</p> <p>3件</p>										
<p>④函館市IJUターン相談コーナーを通じて移住した件数(前年度増加分実績)</p> <p>7件</p>	<p>7件</p> <p>▲1件(6件)</p>	<p>7件</p> <p>-</p>	<p>7件</p> <p>-</p>	<p>21件</p> <p>▲1件</p>										

【内部評価 ※国の実施報告の選択肢】 A…非常に効果的 B…相当程度効果あり C…効果あり D…効果なし
【今後の方向性】 ア…更に発展させる イ…事業内容見直し(改善) ウ…事業継続 エ…事業中止 オ…事業期間終了

【外部評価】 ア…KPIの達成に有効であった イ…KPIの達成に有効とはいえない

「“地域いきいき” 函館で働きたい若者応援プロジェクト」令和3年度実施事業内訳

事業名	R 3 実績額 (千円)		事業の概要
	事業費総額	交付金額	
計	19,285	9,642	
しごとフェスタの開催	2,200	1,100	<p>〔概要〕 マイナビの高校生向け進学イベントの会場内に、市内企業による企業紹介・体験ブースエリアを設置し、高校生が進学する前に（函館を出る前に）、地元企業と接点を持たせ、将来的なUターン就職等による地元就職の促進を図る。</p> <p>○令和3年度実績 日時：令和3年11月12日 会場：函館アリーナ 参加企業：17社</p>
はこだてエリア企業採用情報発信支援事業	8,014	4,007	<p>〔概要〕 大手民間就職情報サイトに、函館市に本社または事業所を有する企業の採用情報等を掲載し、当該企業の情報を効果的に発信するとともに、掲載企業の採用充足率向上を図るため、採用活動の伴走支援を行う。（委託先：株式会社マイナビ）</p> <p>○令和3年度実績 マイナビ2022：『はこだてエリア企業採用情報特集』ホームページに20社の情報を掲載</p>
学生向け創業支援事業	187	93	<p>〔概要〕 若者の創業を育成・支援し、地方だからこそ、小さい規模から夢にチャレンジできるといえるメリットを伝えるとともに、創業意欲の醸成に向けた取り組みを大学生や高専生のほか、高校生向けにも幅広く実施する。</p> <p>○令和3年度実績 Young Entrepreneurship セミナー（学生向けの創業セミナー） 日時：令和3年10月31日 会場：函館コミュニティプラザGスクエア 参加者：10名（うちオンライン参加2名）</p>
ワーケーション促進事業	8,884	4,442	<p>〔概要〕 本市のワーケーション環境のPRを行うとともに、当市のオリジナリティを生かしたワーケーションのあり方を構築し、将来的な企業誘致につなげる。</p> <p>○令和3年度実績 ワーケーション体験ツアー 実施期間：7～9月（参加企業：8社 参加者数：9名） ※8/18募集停止 ：1～2月（参加企業：17社 参加者数：21名） ※追加募集</p>